

事務事業シート(事業仕分け)

整理番号	26	3	3
------	----	---	---

担当部・課	産業観光部・観光課
シート作成担当者 係・氏名	観光交流係
連絡先電話番号	

事業名	観光振興事業		事業開始年度	事業終了(予定)年度
			平成17年度～	予定なし
	大綱	3. 産業がいいきと活発なまち		
	施策の柱	3-4 観光の振興		
総合計画の位置づけ	重点的取組	■ 重点的取組・重点プロジェクト		
	取組名			

根拠法令等	区分名	
	事業区分	■ 事務事業

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲	単位
	■ 個人		① 観光客等	人
	観光プロモーションの実施及びイベントの開催による、観光客等。		②	
	2 意図(どのような状態にしたいか)	事業の成果	成果を表す指標	単位
観光プロモーションにより、島田市への観光交流人口が拡大し、観光振興が図られる。	① 観光交流人口		人	
	② SLフェスタ来場者数		人	
内容	3 手段(目的を実現するために、市が具体的に行っていること)	事業の実績	実績を表す指標	単位
	観光ノベルティグッズ及び観光パンフレットの作成を行い、観光PRを行う。また、観光イベント事業、広域観光連携事業を実施する。		① 観光パンフレットの増刷	部
			② 観光プロモーション事業等の実施	回
	【観光情報発信】 ・観光PRにおいて配布する観光ノベルティグッズの作成 ・観光PRに使用する観光パンフレットの作成 ・観光プロモーション事業の実施			
	【広域観光連携】 3市1町観光広域連携協議会負担金 ・県内の主要な交通インフラが集中している地理的優位性、豊かな自然及び豊富な水流、並びに地域に根差した産業、教育、スポーツ及び文化等を観光資源として活かすため、3市1町の広域における連携・協力体制の強化を図り、交流人口の拡大を目指した観光プロモーションの推進を行う。			
	SLフェスタ負担金 ・大井川流域の市町が連携して、地域の魅力を発信するとともに、内外の交流促進を図ることを目指し、固有の地域資源であるSLを活かした「SLフェスタ」を開催し、大井川流域の観光振興を図る。 【平成25年度開催実績】 ・開催日 : 平成25年10月11日(金)～13日(日) ・会場 : 大井川鐵道新金谷駅周辺、千頭駅周辺及び金谷駅前通 ・来場者数: 53,977人			

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	富士山静岡空港の開港や、新東名開通に伴い、国内外からの観光誘客による観光振興を積極的に図る必要が生じた。
	上記の状況はどのように変化しているか	今後も引き続き、積極的な観光プロモーションを行う必要がある。

効果・成果の説明	島田市・広域の観光プロモーションの実施及びイベント開催により、知名度向上と観光交流人口の拡大が図られている。
----------	--

過去の見直し内容	○平成24・25年度と川根本町と連携し、大井川流域観光客誘致事業を実施し、プロモーション事業を行った。 ○平成26年度から、3市1町広域観光連携協議会及びSLフェスタ実行委員会への負担金措置による事業実施。
廃止した場合の影響	観光プロモーション活動に支障をきたし、観光交流人口の減少が予測される。
民間委託・民営化の受け皿	■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 島田市のシティプロモーションの一環として、市が積極的に実施していく必要がある。
国・県・他市町、民間等での類似事業	他市町も同様の事業経費を負担している。
市における類似事業	島田市観光協会における観光PR事業
課題・今後の方向性等	今後も交流人口の拡大を目指し、積極的な観光PR及びイベントの実施に努めていく。

対象	対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
			実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
対象	① 観光客等	2,664,442	2,042,074		2,445,453		2,760,222		2,664,442	
	②									
	③									
事業の実績	① 観光パンフレットの増刷	5,000	8,000		11,000		15,000		5,000	
	② 観光プロモーション事業等の実施	7	*****		4		6		7	
	③									
事業の成果	① 観光交流人口	2,664,442	2,042,074		2,445,453		2,760,222		2,664,442	
	② SLフェスタ来場者数	45,000	45,713		66,522		53,977		45,000	
	③									

(単位:円)

事業費の内訳	内 容	金 額	積 算 等	
			金額	内容
平成25年度 決算見込み	観光情報発信経費	1,361,410	観光パンフレット15,000部増刷	976,500
	大井川流域観光客誘致事業	942,188	モデルコース商品化業務495,600、商談会127,060、観光キャンペーン319,528	
合計		2,303,598		

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

事業費	直接事業費	財源内訳	H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)		
			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
	財源内訳	国庫支出金												
		県支出金												
		地方債												
		その他												
		一般財源			1,263		3,672		2,304		8,650			
	財源計(a)				1,263		3,672		2,304		8,650			
	人件費	職員	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
		人工(b)	1			1			1			1		
		1人当たり人件費(c)	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)			7,246		7,246		7,246		7,246		7,246	
事業費合計(e=a+d)				8,509		10,918		9,550		15,896				
市民一人当たり負担額(f=e)/10万人)				85		109		96		159				